



メルセデス・ベンツのプレミアムミドルサイズ SUV

AMG

Press Information

2024年2月15日

メルセデス AMG GLC 43 4MATIC (BSG 搭載モデル) を発売

- ・ F1™由来のエレクトリック・エグゾーストガス・ターボチャージャーを採用し、自然吸気エンジンのようなレスポンスを実現
- ・ メルセデスAMG社でマイスターにより組み上げられた直列4気筒エンジンに電気モーターと48V電気システムを追加
- ・ リア・アクスルステアリングを標準装備
- ・ トランスペアレントボンネットを標準装備

メルセデス・ベンツ日本株式会社(社長: 上野金太郎、本社: 千葉県千葉市)は、メルセデス・ベンツのプレミアムミドルサイズ SUV「GLC」のスポーツモデルとして「メルセデス AMG GLC 43 4MATIC (BSG 搭載モデル)」(以下、GLC 43)を追加し、本日より全国のメルセデス・ベンツ正規販売店ネットワークを通じて発売します。

GLCは2015年にデビューし、2020年と2021年ではメルセデス・ベンツの中でベストセラーSUVモデルとなった全世界での累計販売台数260万台^{*1}を販売するメルセデスのプレミアムミドルサイズSUVです。新型GLCは、伸びやかで美しいシルエットの中にスポーティかつ洗練された要素を取り入れたエクステリアと、リアルウッドトリムやカーボンファイバートリムを採用した質感の高いインテリアを併せ持つSUVモデルとして生まれ変わりました。また、ダイナミックなドライビング特性、サポートの精度を高めた安全運転支援システム、縦型の大型メディアディスプレイを搭載しています。このメディアディスプレイには、MBUX全体の中から、走行に合わせて変化するコンテンツをユーザーのために取り出し、関連するサービスとともにMBUX情報アーキテクチャーに表示するゼロレイヤーデザインが採用されており、直感的な操作設定が可能です。

また、直感的な行先案内が可能なARナビゲーション、片側100万画素以上を誇るDIGITALライトによる効果的な夜間の視界確保や、良好な取り回しや優れたハンドリングを実現するリア・アクスルステアリングなど、フラッグシップモデルであるSクラス譲りの最新技術を多数採用しています。中でもメディアディスプレイにクルマのフロント部分下方の路面の映像を映し出す「トランスペアレントボンネット」や、車両の傾き、路面の勾配等をディスプレイに表示する「オフロードスクリーン」も標準装備することでオフロード性能の向上も図りました。

*1: 前身のGLKを含めた累計販売台数



and Mercedes-Benz are registered trademarks of Mercedes-Benz Group AG, Stuttgart, Germany.

メルセデス AMG GLC 43 4MATIC の特長

パワートレイン: F1™ 由来の新技术を採用した直列 4 気筒エンジン「M139」

GLC 43 は、「One man, One engine」の主義に従い熟練のマイスターが手作業で丹念に組み上げる直列 4 気筒エンジン「M139」を搭載しています。GLC 43 は最高出力 421PS(310kW)、最大トルク 500N・m を発生します。この M139 にはエレクトリック・エグゾーストガス・ターボチャージャーを採用しています。このターボチャージャーは F1™由来の技術で、メルセデス AMG ペトロナス F1 チームがモータースポーツの最高峰である F1において長年採用して実績を上げているシステムを直接のベースとするものです。

エレクトリック・エグゾーストガス・ターボチャージャーの電気モーターは厚さ約4cmで排気側のタービンホイールと吸気側のコンプレッサーホイールの間のターボチャージャーの軸に直接一体化されています。このモーターが電子制御でターボチャージャーの軸を直接駆動し、コンプレッサーホイールを加速します。この加速は、コンプレッサーホイールが通常のターボチャージャーと同じく、排気の流れによって駆動されるようになるまで行われます。

これにより、アイドリングスピードから全エンジン回転域にわたって、レスポンスの速さが大きく改善されます。アクセル操作に対するエンジンのレスポンスがいわゆる自然なものとなるほか、ダイナミックな走りが楽しめるようになります。これに加え、ターボチャージャーの電動化は低回転域のトルクを高める効果をもたらし、アジリティや発進加速性能の向上につながります。アクセルから足を離したり、ブレーキを踏んだりした場合でも、エレクトリック・エグゾーストガス・ターボチャージャーは常にブースト圧を維持することができるため、速やかなレスポンスが途切れることなく得られます。

このターボチャージャーは車載の48V電気システムを電源とし、最大175,000rpmまで動作することで、きわめて高い空気流量を可能とします。ターボチャージャーと電気モーター、それに電子制御ユニットは、エンジンの冷却システムに接続されており、常に最適な温度管理を行います。

また、GLCに初めて採用したBSGは第2世代のもので、48V電気システムの中ではマイルドハイブリッドとしても機能し、短時間ですが出力を10kW(14PS)高めるブースト機能のほか、セーリングモードや回生ブレーキにより効率を最大限に高めます。同時に48Vテクノロジーは、ECOスタートストップ機能やセーリングモードの間の切り替えがほぼ感じられないほど滑らかに行われることから、快適性の改善にも役立ちます。

トランスミッション: AMG スピードシフト MCT

GLC 43 のトランスミッションには、従来 63 モデルにのみ搭載されていた「AMG スピードシフト MCT」(9 速オートマチックトランスミッション)を採用しました。トルクコンバーターの代わりに湿式多板クラッチを搭載し、ダイレクト感のある素早いシフトチェンジと高い伝達効率を実現しています。

パフォーマンス志向のフルタイム四輪駆動システム「AMG 4MATIC」

パフォーマンス志向フルタイム四輪駆動システムのAMG 4MATICは、前後トルク配分が31:69とAMG独自の後輪重視型です。この後輪重視の配分により、横方向加速度を高めるなどダイナミックなハンドリングを強化するとともに、加速時のトラクションも改善しています。

リア・アクスルステアリング

GLC 43には、後輪操舵システム「リア・アクスルステアリング」を標準装備しました。約100km/h以下では、リアホイールをフロントホイールとは逆方向に最大約2.5度傾けます。これにより日常の走行シーンや、駐車する際には回転半径が小さくなるため、クルマが扱いやすくなります。約100km/hを超えると、リアホイールをフロントホイールと同じ方向に最大約0.7度操舵することで、走行安定性を大きく高めます。従来のメルセデスの美德である小回り性能を犠牲にしないだけでなく、中高速域での安定性や、優れたハンドリングも並立させています。

AMG 強化ブレーキシステム

フロントに 4 ピストンの固定キャリパーにドリルドベンチレーテッドディスク、リアに 1 ピストンのフローティングキャリパーにベンチレーテッドディスクを採用し、強大な制動力と耐フェード性、ペダル操作に対する優れた応答性を発揮します。

AMG パフォーマンスステアリングホイール

走行中に手を放すことなく各種メニュー操作が可能なAMGドライブコントロールスイッチを備えたAMGパフォーマンスステアリングを標準装備しました。

メルセデスAMG GLC 43 4MATICのその他の特長

インテリジェントドライブ

メルセデス・ベンツの自動運転開発の次のステップとなる技術は、一般道での安全運転支援はもちろんのこと、特に高速道路での運転支援機能により、ドライバーにかかる負担を大きく軽減するシステムで、GLC 43は以下の機能を備えています。

- 「**アクティブステアリングアシスト**」に必要な車線認識を、従来のステレオマルチパーパスカメラだけでなく、360度カメラシステムも使用することで、対応が可能なカーブが増えたり、高速道路上で今まで以上に精密に車線中央を維持することができます。
- ドライバーが周囲の道路状況に反応しなくなってからかなりの時間が経過していると判断した場合に警告を発したり、徐々に減速して最終的に車両を停止させる「**アクティブエマージェンシーストップアシスト**」は、アクティブディスタンスアシスト・ディストロニックとアクティブステアリングアシストが使用されていない場合でも作動します。
- 警告や緊急ブレーキ機能を含む「**アクティブブレーキアシスト**」は、交差点や曲がり角での右左折の際に、対向、飛び出し、巻き込みなどにより、車、自転車及び歩行者と衝突する危険がある場合、警告やブレーキが作動します。
- 車両前方にいる車道横断中の歩行者などとの衝突の危険を検知すると、システムが正確なステアリングトルクを計算して、ドライバーのステアリング操作をアシストする「**緊急回避補助システム**」は、自車と同じ方向や反対方向に進む歩行者や自転車を含む車両も検知します。
- 走行している車線を意図せず逸脱しそうな場合に警告、および進路を修正する「**アクティブレーンキーピングアシスト**」は芝などの路肩に対しても反応します。またメニューで3段階で感度が調整できます。

- 車両の斜め後ろのミラーでは見にくい死角エリアに車両や自転車がいることを警告し、30km/h以上で走行中に側面衝突の危険がある時に危険回避をサポートする「アクティブブラインドスポットアシスト」は停車時にドアを開けようとした際、後方から障害物が迫っている場合は警告します。

MBUX(メルセデス・ベンツ ユーザー エクスペリエンス)

GLC 43は、12.3インチの Cockpitディスプレイと、11.9インチの縦型ディスプレイを採用するメディアディスプレイの2画面を標準装備しています。

また、2018年から順次各モデルに搭載し、熟成が進められてきた、対話型インフォテインメントシステム「MBUX」を採用しました。ボイスコントロールは「Hi, Mercedes」をキーワードとして起動します。音声認識機能は多くのインフォテインメント機能(目的地入力、電話通話、音楽選択、メッセージ入力・読み上げ、気象情報)に加え、クライメートコントロール、各種ヒーター、照明など多様な機能にも対応しています。また、音声認識だけではなく、タッチスクリーン、ステアリングホイールにあるタッチコントロールボタンでも様々な操作をすることが可能です。ドライバーの好みや運転状況に応じて使い分けることが可能です。

トランスペアレントボンネット

Offroadモードでは、360°カメラシステムを使い「トランスペアレントボンネット」機能が使用できます。メディアディスプレイにクルマのフロント部分下方の路面の映像(フロントタイヤとその操舵方向を含む)を仮想的に映し出す機能で、進路上にある大きな石や深い窪みなどの障害をいち早く確認することができます。

オフロードスクリーン

オフロードスクリーンは、Cockpitディスプレイおよびメディアディスプレイに情報や操作スイッチ類、さまざまな機能を分かりやすく配置する機能です。これにより、オフロード走行に関連するすべての運転機能を1つの画面で簡単に操作することができます。

ARナビゲーション

AR (Augmented Reality = 拡張現実)ナビゲーションを標準装備しています。従来、目的地を設定して行先案内をする場合、地図上に進むべき道路がハイライトされますが、それに加えて、車両の前面に広がる現実の景色がナビゲーション画面の一部に映し出され、その進むべき道路に矢印が表示されます。これにより、より直感的にどの道路に進むべきかを判断することができます*2。

*2: オン/オフの切り替えが可能です。オフの場合、従来どおり、地図上の道路をハイライトする画面が表示可能です。

テレマティクスサービス「Mercedes me connect」

自動車が通信することによりお客様の利便性を向上する先進的なテレマティクスサービス「Mercedes me connect」は、「安心・安全」と「快適」の側面からお客様のカーライフをサポートします。

「3年間無料、以降7年間自動で継続されるサービス」

- 24時間緊急通報サービス*3: 事故検知時(エアバッグ、シートベルトテンショナー展開時)または車内にあるSOSボタン押下時に、コールセンターが消防に連絡します。
- 24時間故障通報サービス: ツーリングサポートが必要な際に、meボタンを押すとツーリングサポートセンターにつながります。

- リモート(車両)ステータス確認: 車両の走行距離等で確認できます。
- Send2Car: スマートフォンから、ナビゲーションの目的地を遠隔設定できます。
*3: 別途ポッシュユーザーサービスソリューションズとの契約が必要です。

「3年間無料のサービス」(有料で継続可)

- リモートウインドウ & サンルーフコントロール: スマートフォンの操作でウインドウやスライディングルーフの開閉ができます。
- リモートドアロック&アンロック: スマートフォンの操作で車両ドアのロック、アンロックができます。
- 駐車位置検索: 駐車した車両の位置をアプリの地図上に表示します。
- オフストリートパーキング(オンライン駐車場情報): 駐車場の場所だけではなく空車情報もオンラインでナビゲーション地図上に表示します。

エクステリアデザイン

GLC 43のフロントデザインは、ハイグロスクロームの縦ルーバーを備えたAMG専用フロントグリルを採用しました。メルセデスAMGのパフォーマンスモデルであることを明確に主張し、アグレッシブな表情を形成しています。また、GLC 43専用デザインのフロントエプロンは左右にコの字型を描く大型のフリックを装備しています。フリックをハイグロスブラックで引き締めることで、迫力あるフロントマスクに仕立てています。

パワードームを備えるスポーティなボンネットは、GLC 43の前へ前へと進もうとする衝動を強調しています。「Sensual Purity^{センシュアル ピュリティ}(官能的純粋)」というデザインの基本思想に基づき、ラインやエッジを大幅に削減し、曲線を描く彫刻的な面により、特殊な陰影を生み出しています。これによりプロポーションが強調されるとともに、逞しいホイールアーチにアクセントが与えられています。ホイールアーチは先代モデルのブラックからボディ同色になり都会的なエクステリアを演出しています。

サイドは、フロントフェンダーに「TURBO ELECTRIFIED」サイドエンブレムが入り、電動化されたターボチャージャーを搭載した先進のパートレインを備えていることを強調しています。

リアデザインは、力強く張り出したフェンダーと水平基調のリアバンパー、ツーピース構造で内部に立体感があるスリムなリアコンビネーションランプにより、リアエンドをよりワイドでシャープに見せるデザインとなりました。リアバンパーにもディフューザー風のリアエプロンを採用するとともに、左右2本ずつのエグゾーストパイプがスポーティなリアエンドを形成しています。

インテリアデザイン

ドライバーを重視することでスポーツ感を強調すべく、ダッシュボードと縦型の11.9インチのメディアディスプレイを6度、ドライバー側に傾けたデザインが採用されています。運転席に備わる12.3インチの大型コックピットディスプレイは自立型でダッシュボード上部と大きなインテリアトリムの手前に浮かんでいるように見えます。コックピットディスプレイとメディアディスプレイは5つのスタイル(ジェントル、スポーティ、クラシック、Supersport、Offroad)と3つのモード(ナビゲーション、アシスト、サービス)の中から選択することでカスタマイズすることが可能です。

ダッシュボードは上下2つの部分に分かれています。上部は翼のような形状に、航空機エンジンのナセルを想わせる丸みをつけたやや横長の新デザインの角型エアアウトレットが配置されており、スポーティさを演出します。下部には大きなインテリア

トリムが広がり、標準仕様でもオプション選択時でもリアルウッドインテリアトリムを採用し、質感の高い室内空間を演出しています。このインテリアトリムはセンターコンソールからダッシュボードへと途切れなく続いています。

アンスラサイトライムウッドインテリアトリム(標準仕様)

ブラックに近いダークグレーに着色され、垂直方向に木目が現れるマット仕上げのライムウッドインテリアトリム。シックで落ち着いた印象を与えます。



ブラックオープンポアウッドインテリアトリム
(AMGレザーエクスクルーシブパッケージ仕様)

ブラックのウッドにオープンポア(マット)仕上げを施し、アクセントとして垂直方向にアルミニウムのラインを取り入れたウッドインテリアトリム。ラグジュアリーでありながら、クールな雰囲気も併せ持つ室内空間を演出します。



ダッシュボードの両端を囲むドアパネルはシンプルでモダンなデザインが目を惹きます。ドアのセンターパネルはアームレストを一体化しており、垂直面から水平方向に張り出しています。アームレストの前部はセンターコンソールのデザインを反復するように、クロームをあしらっています。ここはGrabハンドルとなるほか、ドアを閉めるときのグリップともなる部分で、パワーウィンドウのスイッチが配置されています。

シートは、サポート性に優れサーキットでのスポーツ走行時でも安定したドライビングポジションを維持できる一方で、長時間のドライビングでも疲れにくい快適性も兼ね備えたレザーARTICO/MICROCUTスポーツシートを標準装備しています。AMGレザーエクステリアパッケージを選択すると、上質なナッパレザーを採用したスポーツシートが装着されます。

シートの調整スイッチやドアハンドルが配置されたフロントドアのブラックパネルは、エッジがクローム仕上げとなり、ドア表面から浮き上がるようなデザインとなっており、アンビエントライトの照明による上質感を演出します。

室内を彩る「アンビエントライト」は64色から選択可能で、単色の発光に加えて色の連続変化が可能です。

GLC 43は、620L～1,680Lと大容量のラゲッジルームを備えています。

ラインアップ

メーカー希望小売価格(消費税込み)は以下の通りです。(MP:202401)

モデル	ステアリング	エンジン	メーカー希望小売価格*4 ()内は消費税抜き車両本体価格
GLC 220 d 4MATIC (ISG搭載モデル)*5	右	2.0L 直列 4 気筒 直噴ディーゼル ターボ	¥8,390,000 (¥7,627,273)
GLC 350 e 4MATIC Sports Edition Star		2.0L 直列 4 気筒 直噴ターボ +プラグイン ハイブリッド	¥9,980,000 (¥9,072,728)
メルセデス AMG GLC 43 4MATIC (BSG搭載モデル)*6		2.0L 直列 4 気筒 直噴ターボ	¥11,700,000 (¥10,636,364)
メルセデス AMG GLC 63 S E PERFORMANCE		2.0L 直列 4 気筒 直噴ターボ +プラグイン ハイブリッド	¥17,800,000 (¥16,181,819)

*4: 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金(消費税を除く)、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また、「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。メーカー希望小売価格は参考価格です。価格は販売店が独自に定めておりますので、詳しくは各販売店にお問い合わせ下さい。

*5: ISG は Integrated Starter Generator の略称です。

*6: BSG は Belt-driven Starter Generator の略称です。

なお、GLC 43 には、新車購入から3年間、一般保証修理/定期メンテナンス(点検整備の作業工賃・交換部品)/24時間ツーリングサポート/地図データ更新*7が無償で提供される走行距離無制限の保証プログラム「メルセデス・ケア」が適用されます。

メルセデス・ケア終了後も引き続き2年間、一般保証、定期メンテナンスや24時間ツーリングサポートをご利用いただける有償のサービスプログラム「メンテナンス&保証プラス*8」をご用意しています。

*7: 地図データの更新には Mercedes me connect サービスのアクティベーションが必要となります。

*8: メンテナンスサービスは総走行距離 75,000km までで終了となります。



左:メルセデスAMG GLC 43 4MATIC (BSG搭載モデル)

右:メルセデスAMG GLC 63 S E PERFORMANCE

GLC 43 に搭載される安全運転支援システムの詳細説明

「インテリジェントドライブ」

進化した「レーダーセーフティパッケージ」

- ・ **アクティブディスタンスアシスト・ディストロニック（自動再発進機能付）**
- ・ **アクティブステアリングアシスト**

「アクティブディスタンスアシスト・ディストロニック（再発進機能付）」は、ステレオマルチパーパスカメラとレーダーセンサーにより、高速道路や一般道などの走行時に先行車を認識して、速度に応じて車間距離を調節します。減速が必要な場合、アクセルおよびブレーキを調整してスムーズに減速し、先行車が停止した場合は自車も停止します。また、停止している先行車の検知も可能です。先行車および停止中の車両との距離が突然縮まった場合には、警告灯と警告音でドライバーに知らせます。

再発進機能は、高速道路での渋滞時に停止した際、30 秒以内^{*10}に先行車が発進した場合、ドライバーがアクセルを踏まなくても再発進します（一般道では3 秒以内^{*9}）。30 秒以上停止していた場合は、アクセルを軽く踏む、またはステアリング上のスイッチを使用して再発進が可能です。

「アクティブステアリングアシスト」は、車線のカーブと先行車を、車線が不明瞭な道ではガードレールなどを認識し、車間を維持しながらステアリング操作をアシストします。

*9: 停止後の再発進までの時間は周囲の状況や走行状況により変わる場合があります。

- ・ **渋滞時緊急ブレーキ機能**

ステレオマルチパーパスカメラとレーダーセンサーで、先行車およびその左右の車線を監視します。突然渋滞の最後尾が現れた場合などに、前走車との衝突の危険を検知します。その左右などに回避スペースが無いと判断すると、即座にブレーキが作動し、衝突回避または被害軽減を図ります。回避スペースがある場合は、ドライバーの回避操作を優先します。ただし、ドライバーが反応しない、または回避操作が遅れて衝突が回避できないと判断した場合には、即座にブレーキが作動します。さらに、渋滞末尾で回避操作を行う空間的余裕がない危険な状況を検知して、通常よりはるかに早い段階でブレーキを作動させる機能も搭載しています。

- ・ **アクティブレーンチェンジングアシスト**

高速道路を走行時^{*10}にアクティブステアリングアシストが起動している際に、ドライバーがウインカーを点滅させると 3 秒後に車両周囲を監視しているセンサーが他の車両などとの衝突の危険が無いことを確認し、安全が確認された場合に車線を変更します。

*10: 一般道での利用不可

- ・ **アクティブエマージェンシーストップアシスト**

ドライバーが周囲の道路状況に反応しなくなってから一定の時間が経過していると判断した場合、警告灯と音によって警告し、それでもドライバーによるステアリング、アクセル/ブレーキなどの操作の反応が無い場合は、さらに警告音を鳴らしながら、緩やかに減速して停止します。また、車両停止後はパーキングブレーキがかかることで、後方からの衝突による二次災害を防止します。

・アクティブブレーキアシスト

(歩行者/飛び出し/右折時対向車検知機能付)

先行車、飛び出し車両、歩行者などと衝突のおそれがあるかどうかを確認。衝突が近いと判断すると、表示および音でドライバーに警告します。ブレーキペダルの踏み込みが弱すぎる場合は、状況に応じてブレーキ圧を高めて支援するほか、ドライバーが対処しない場合は緊急ブレーキを起動します。また、交差点や曲がり角での右左折の際に、対向、飛び出し、巻き込みなどにより、自動車、自転車及び歩行者と衝突する危険がある場合、警告やブレーキが作動します^{*11}。

^{*11}: 右折の場合、センターライン(実線、破線、白色、黄色いずれでも可)のある道路で、ドライバーによる進路変更の意思表示があり(ウインカー操作)、かつ車線境界を越えずに車両を停止させることが可能な場合に作動します。

・緊急回避補助システム

車両前方にいる車道横断中の歩行者などとの衝突の危険を検知すると、システムが正確なステアリングトルクを計算して、ドライバーのステアリング操作をアシストします。また、回避後の車線復帰も同様にサポートします。

・トラフィックサインアシスト

一般道や高速道路を走行中、カメラが制限速度などの標識を読み取り、ディスプレイに表示し、制限速度を超えた際には警告音を出してドライバーに注意を促す機能も搭載します。

・アクティブレーンキーピングアシスト

フロントウィンドウのステレオマルチパーパスカメラが車線を検出し、フロントホイールが走行車線を越えたと判断するとステアリングを断続的に微振動させてドライバーに警告します。ドライバーが反応しない場合は車両を車線内に戻そうとします。なお、破線の車線走行時には隣車線の車両もしくは対向車と衝突の危険がある場合にのみ作動します。

・アクティブブラインドスポットアシスト(降車時警告機能付)

リアバンパー左右のレーダーセンサーにより、車両の斜め後ろのミラーで見えない死角エリアに車両や自転車がいることを警告します。さらに、30km/h以上で走行している際に側面衝突の危険がある時には、危険回避をサポートします。追い越し車線に移ろうとして斜め後ろにいる車両に気づかなかったときなど、ドライバーの不注意によるミスを予防し、安全な走行を支援します。また、停車時にドアを開けようとした際、後方から障害物が迫っている場合の警告機能を採用しており、時速 2km以上で後方から歩行者や自転車、自動車などが近づいている場合、ドアミラー外側にある警告表示灯が赤く点灯します。

^{*12}: エンジンを停止した場合、エンジン停止から 3 分間作動します。

^{*13}: 対象物と自車の速度差が大きいなど、状況によって作動しない場合があります。

ドライバーを支援するその他のシステム

・ドライブアウェイアシスト

車両前方もしくは後方 1m 以内に障害物があり、その方向に進むギアを選択した場合、アクセルを強く踏んでも 2km/h 以上の速度が出ず、警告音により障害物が近くにあることをドライバーに知らせることで、誤操作の可能性があることを警告します。

- *14: 停止した際に、一旦 P にシフトした後、D か R に入れる必要があります。通常走行中に停止し、P にシフトせずに再発進をする場合は、本機能は作動しません。
- *15: 2km/h で走行し、警告にも関わらずドライバーがブレーキを踏まない場合は障害物に衝突します。
- *16: 停止した際に障害物から 1m 以上離れている場合、本機能は作動しません。

・アテンションアシスト

ドライバーが眠気を催したり、注意力散漫になったりする場合に現れる典型的な兆候を検知し、休息をとるよう促す警告メッセージを表示します。